

第4分科会

これからの大学広報

——《教・職・学・卒》が創発し合う場を育む

分科会概要：

大学の現場では「広報」と「宣伝」が混然となっている。と同時に、組織的には「一般広報」と「入試広報」とが縦割りで、相互の連携が取れていない。何を指す広報なのか、誰が誰に対して広報するのか曖昧なまま、多額の「広告費」を無駄に流出させてしまっている学校が少なくないのではないか。

ポストコロナ／ハイブリッド教育の時代は、大学が「本質的に」社会に開いていく時代だ。教職員による教育活動、学生の学修活動、そして卒業生の社会活動が相互に創発することを通じて、各大学の価値が創出されていく。

そのような時代の大学広報のあり方を語り合いたい。

<プログラム>

- 14：00 趣旨説明
龍谷大学 社会学部 准教授 築地 達郎 氏
- 14：10 講演 1. 「大学にとって戦略的な Web デザインとは何か」(仮)
京都大学 情報環境機構 IT 企画室 助教/Web 戦略室 マネージャー
小野 英理 氏
- 14：40 講演 2. 「一般広報と入試広報 統合の試み」(仮)
学校法人学習院 総合企画部広報課/大学学長室広報センター 課長 西村 圭 氏
- 15：10 休憩
- 15：20 講演 3. 「今ここにある危機と大学の好感度について」(仮)
追手門学院大学 理事長室広報課 課長/日本広報学会 理事 谷ノ内 識 氏
- 15：50 総合討論 「開かれた大学づくりと広報」
- 16：30 分科会終了

<交流会> ※交流会への参加は任意です

16：30～17：00

パネルディスカッション終了後、名刺交換会的な交流会を行います。実務面でのお悩みを共有し、広報活動の改善に役立てたいと思います。ブレイクアウトルーム機能を用います。カメラオン可能な服装でご参加ください。